

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	1
タイトル	市有林の積極的、計画的間伐を進めて欲しい		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市の森林の面積は約70%で、土岐市、多治見市の森林の面積を合わせても瑞浪市の森林の面積には追いつかないほど広い。民有林と市有林があり、市の農林課からは民有林については、積極的に間伐を進めているが、市有林に関しては一向に進んでいない現状である。</p> <p>陶都森林組合の間伐計画では一般受託への1/20が市有林であり、市からの注文がきていないという現状である。小田地区でみると上小田森林組合と下小田森林組合の所有地があるが、その南側はすべて市有林である。市有林の方が成長も良く、十分なお金になる。国産材の価格も上がっているため市有林の伐採を行い、少しでも市の財政を潤してもらいたい。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>先週の学生との語る会でも、「瑞浪の豊かな自然は財産である、この豊かな自然環境を大切に未来につないでいってほしい」との声があった。瑞浪市の面積の約7割が森林であり、これをどう残していくか、産業としてどう活用していくかということも市の大切な事業であると考えます。第7次瑞浪市総合計画の中には森林の管理・保全・維持を位置づけていかなければならないと思う。現在、山が荒れてきており、災害の原因にもなり得るため、森林環境譲与税などにより集まった税金を活用して山の管理・運営をする制度も国や県で作っている。予算や補助金を活用しながら瑞浪市の森林の管理・保全をしていかななくてはならないと思う。</p> <p>陶都森林組合の本部は瑞浪にあるが、瑞浪市、土岐市、多治見市の3市の林業関係者で運営・管理を行い、3市の山の管理・保全を行っている。</p> <p>瑞浪市が所有する一部の山林については、陶都森林組合が策定する森林経営計画に含まれており、経営委託契約を締結し、間伐など森林の適切な維持管理を実施している。令和3年度は13ha実施しており、令和4年度は44haを予定し、今後も契約に基づき間伐等を実施していく。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	2
タイトル	医療系大学の瑞浪市誘致を図って欲しい		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市・土岐市・多治見市の3市長の合意で東濃研究学園都市構想が掲げられたが、20年経った今でも研究所は増えておらず、大学にいたっては土岐市、多治見市にはなく、唯一瑞浪市のみである。医師不足、看護師不足と言われている中、病院を統合しても医者がいなければ何もならない。今後の医師確保のためにも、東濃厚生病院や土岐総合病院の跡地を利用して瑞浪市に医療系の大学を誘致をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 企画政策課	
<p>確かに東濃研究学園都市構想があり、土岐市を中心にいろいろな研究所があるが、学園都市にふさわしい新たな施設や大学の誘致につながっていないということは事実である。中京学院大学の中に看護学部が2010年に開設され、看護師や保健師を目指す学生が全国から集まってきている。そこを卒業した生徒さんが東濃厚生病院や東濃5市の医療機関に勤務されることも始まっている。医師不足の課題に対し、現在各大学の先生に新病院計画の説明と医師派遣の要請を行っている。先生方からは、「働き方改革が進み、完全実施となると少人数を病院に派遣することはできなくなるため、1つの病院にまとめて派遣し、働き方改革の条件に合う勤務体制を作っていかなければいけない」との声もある。</p> <p>医療系の大学を誘致することは正直難しい。後利用の話も出たが、土岐市立総合病院は土岐市の所有であり、東濃厚生病院はJA岐阜厚生連の土地・建物である。東濃厚生病院については、診療所、介護、福祉、健康増進、リハビリの機能をまかなえるような後利用をお願いしており、瑞浪市とJA岐阜厚生連で後利用の協議会を立ち上げて検討していく予定である。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	3
タイトル	（１）病院の合併について （２）駅前周辺の交通について		
ご意見の内容			
<p>（１）病院の合併について 病院の合併について、医師不足などにより前向きに進めていかなければいけないと感じたが、利用する市民の利便性について市としてはどう考えているのか。私の周りでは、跡地は診療所として病院機能をそのまま残してほしいと期待の声がある。医師不足が問題となると診療所としては厳しいと感じたが、住民の希望に沿う形になるといいと思う。場所が変わるということで、公共交通機関を利用して病院に通う方は今のような巡回バスや新たにコミュニティバスなどがあるのかなど、特に情報収集が難しい年配の方にもわかるように丁寧に説明していただきたい。そうすることで病院がなくなるという不安も解消されると思う。</p> <p>（２）駅前周辺の交通について 瑞浪市の駅前の駐車場を逆走する方が多い。また、岐阜県道389号線瑞浪停車場線と市道公園通線が交わる信号のある交差点において一方通行にも関わらずそのまま直進し侵入される方がいる。子どもの送迎の際に危険な場面をよく目にするので何かしら対策をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 都市計画課 土木課	
<p>（１）病院まで歩いていくことができず不便との声もいただいている。病院への交通手段については、現在東濃厚生病院において、公共交通機関がない地域に週1回送迎バスを運行している。病院のない地域には診療バスによる巡回診療も行っている。送迎バスに関しては、引き続き運行していただきたいと考えているが、JA岐阜厚生連の施策とともに市としてできることは何かをしっかりと考えていく。 東濃厚生病院の後利用について、診療所機能を残していただくよう要望しており、JA岐阜厚生連と協議会を立ち上げ、検討していく予定である。新病院周辺の道路整備については土岐市の事業として進めている。</p> <p>（２）駅前広場の誤進入については、誤進入防止の対策を早急に検討する。また交通規制の標識等については、岐阜県公安委員会と協議する。</p>			

地区名	瑞浪（小田）地区	番号	4
タイトル	市長の進退について		
ご意見の内容			
<p>市長の任期があと1年であるが、多くの課題があるので前向きに検討をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	—	
<p>第6次瑞浪市総合計画のラストスパートもかけている段階であるので、与えられた期間にまずは1つでも2つでも達成し、第7次瑞浪市総合計画をどうするかしっかりと考えながら、自身の進退を考えていきたい。今は目の前の事業に全力で取り組んでいきたいと思っている。</p>			